六条大麦奨励品種「シンジュボシ」

古川農業試験場

1 取り上げた理由

宮城県における六条大麦は、転作作物の基幹作物として作付けされており、なかでも「ミノリムギ」については比較的安定多収であることから、基幹品種として長く栽培されてきた。しかし、「ミノリムギ」は、近年気象変動の影響もあり硬質麦等が発生し品質の評価が変動するようになってきた。本県産麦の品質評価の一層の向上を図るため、硬質麦の発生が少なく、摂精白度、炊飯白度が高い「シンジュボシ」を本県の奨励品種とし、普及技術とする。

2 普及技術

1）来歴

六条大麦「シンジュボシ」は、早生・多収、耐寒性、良質を育種目標に、東北農業試験場（現在の独立行政法人 農業技術研究機構 東北農業研究センター）において、「東北皮○号」を母として、「シュンライ」を父として、2000年に人工交配し、その後代から選抜・育成された系統である。

2003年から「シンジュボシ」の系統名で宮城県に配布され奨励品種決定調査に供試し、検討されてきたものである。

2）特性の概要

a 出穂期、成熟期は「ミノリムギ」よりやや早い、中生の早中である。
b 種は「ミノリムギ」と同程度である。
c 耐倒伏性は「ミノリムギ」よりわずかに弱い、やや強一中中である。
d 収量性は「ミノリムギ」と同程度である。
e 硝子率は「ミノリムギ」より低い傾向にある。（硬質麦の発生が少ない）
f 摂精白度、炊飯白度とも「ミノリムギ」より高く、食味も優る。
g なお、本県の早生品種「シュンライ」と比較すると、稲長は長く耐倒伏性はやや弱いが、硝子率は低く、炊飯白度が高い、食味が優る。

3）対象地域等

a 普及見込み地域

西部丘陵、及び山間高冷地帯を除く県下一円

b 普及見込み面積

300ha

3 利活用の留意点

1）凍上害及び寒害の発生を防止するため、播種適期を厳守するとともに、排水対策の徹底と鎮圧作業を励行する。

2）稲長は「ミノリムギ」と同程度の長稲で、やや倒伏しやすいので、多肥栽培は避ける。

3）硬質麦の発生を防ぐため、播種適期を厳守するとともに、追肥は減数分裂期までとする。

（問い合わせ先：古川農業試験場　水田利用部　電話0229-26-5106）
### 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

- 多様囲込み品種決定調査 古川農業試験場水田利用部 平成 30−40年
- 農業センター農産部 平成 30−40年

2) 参考データ

#### 表1 特性一覧

<table>
<thead>
<tr>
<th>系統名</th>
<th>東北皮 34号</th>
<th>交配組合せ東北皮 30号/シュランセ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>調査地</td>
<td>宮城県古川農業試験場</td>
<td>宮城県農業センター</td>
</tr>
<tr>
<td>系統名/品種名</td>
<td>シンジュボン標準 ミルット* 比較ジュランセ シンジュボン標準 ミルット* 比較ジュランセ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>早晩性</td>
<td>中生の早 中生 早生</td>
<td>中生の早 中生 早生</td>
</tr>
<tr>
<td>出穂期（月日）</td>
<td>6月15日 6月15日 6月15日</td>
<td>6月15日 6月15日 6月15日</td>
</tr>
<tr>
<td>成熟期（月日）</td>
<td>10月15日 10月15日 10月15日</td>
<td>10月15日 10月15日 10月15日</td>
</tr>
<tr>
<td>よ度（cm）</td>
<td>70.0 70.0 70.0</td>
<td>70.0 70.0 70.0</td>
</tr>
<tr>
<td>積数（本/畝）</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>な長短</td>
<td>長 長 長</td>
<td>長 長 長</td>
</tr>
<tr>
<td>株の開閉</td>
<td>開 開 開</td>
<td>開 開 開</td>
</tr>
<tr>
<td>種発芽性</td>
<td>やや難 やや難 やや易</td>
<td>やや易 やや易 やや易</td>
</tr>
<tr>
<td>脱粒性</td>
<td>やや易 やや易 やや易</td>
<td>やや易 やや易 やや易</td>
</tr>
<tr>
<td>秋播性程度</td>
<td>やや易 やや易 やや易</td>
<td>やや易 やや易 やや易</td>
</tr>
<tr>
<td>原千粒重（＠）</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>容積重（g/＠）</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>標準比率</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>子実率（＠）</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>標準比率</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
<td>0.0 0.0 0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>外観品質</td>
<td>中の上 中の上 中の上</td>
<td>中の上 中の上 中の上</td>
</tr>
<tr>
<td>風種率</td>
<td>中 中 中</td>
<td>中 中 中</td>
</tr>
<tr>
<td>病害</td>
<td>うちどんこ病 やや強 強 やや弱</td>
<td>やや強 強 やや弱</td>
</tr>
<tr>
<td>病害</td>
<td>赤かび病 中 中 やや弱</td>
<td>やや弱 やや弱 やや弱</td>
</tr>
<tr>
<td>結粒性</td>
<td>中 やや弱 やや弱</td>
<td>やや弱 やや弱 やや弱</td>
</tr>
<tr>
<td>種の性</td>
<td>中 やや強 強</td>
<td>やや強 やや強 やや強</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注: ***印は、育成地及び特性検定地における評価を用いた。***

### 植物調査結果

#### 表2 品種比較結果

<table>
<thead>
<tr>
<th>場所名</th>
<th>系統、品種名</th>
<th>種苗数</th>
<th>百度</th>
<th>黄色</th>
<th>外観</th>
<th>色</th>
<th>枯</th>
<th>かたさ</th>
<th>味</th>
<th>合計</th>
<th>炊飯 百度</th>
<th>炊飯 百度</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>宮城県古川農業試験場</td>
<td>シンジュボン標準ミルット*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>シンジュボン標準ジュランセ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>宮城県農業センター</td>
<td>シンジュボン標準ミルット*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>シンジュボン標準ジュランセ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>平均</td>
<td>シンジュボン標準ミルット*</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>シンジュボン標準ジュランセ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

注1) 東北地域麦類品質連続試験結果による
2) ⅡⅡ種苗数及び炊飯の GDPR、GDTR、GDTRW 及びGDTRW で測定
3) ⅡⅡ種苗数及び炊飯の黄色数：0無～5著
4) 外観品質：1著上～9著下
5) 総合の目立つ程度：3著未～0著～3著未
6) 食味官能評価：3著未～0著～3著未
7) 食味官能評価は、岩手県産ペクシュル むきを標準とした

3) 発表論文等

平成 30年度東北農業研究成果情報